

# 令和2年度 各種会計決算を認定

## 決算概要

### ■ 一般会計

#### ● コロナ対策に追われた1年

この1年14回に及ぶ補正予算が生まれ、予算の見直しによる歳出の削減、各種給付金やワクチン接種体制の構築、感染症対策の備品整備や、中小企業の経済対策などが行われました。国や県からの新型コロナウイルス感染症対策関連の交付金などは135億円余にのぼっており、市は日常業務をこなしつつ、感染症対策にも全力をあげました。

#### ● GIGAスクール構想の推進と待機児童の解消

小中学生にひとり1台のタブレットを貸与しネット環境も整えるGIGAスクール構想を推進しました。

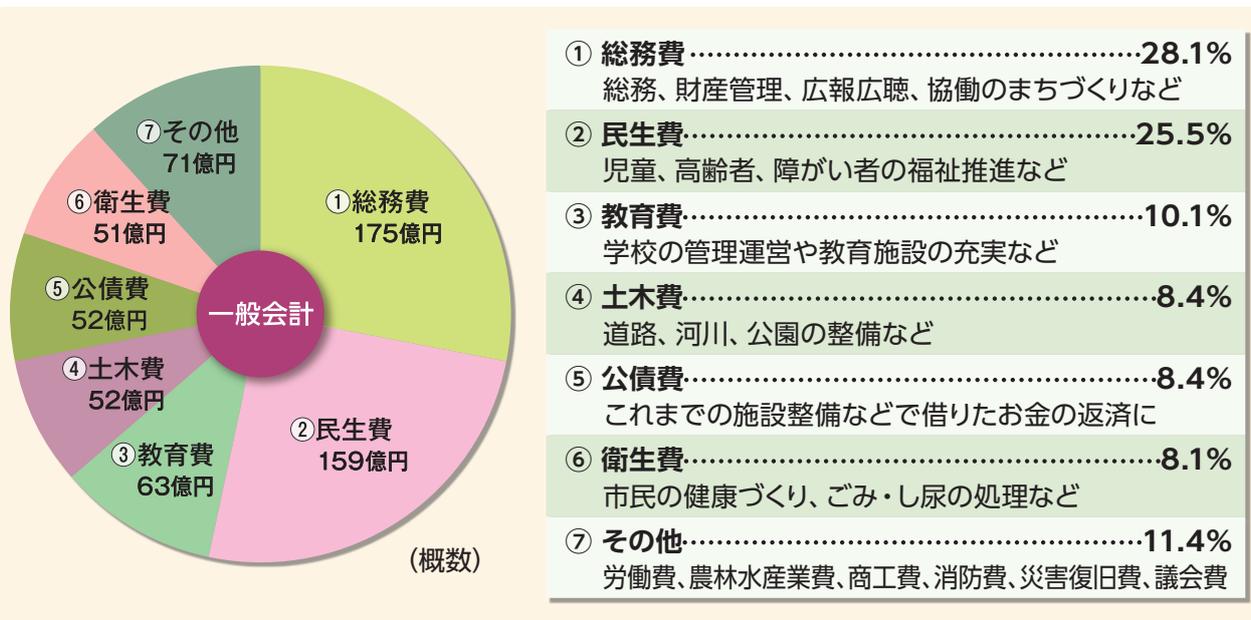
#### ● 市民サービスの拡大

厳しい予算の中、財源を確保をしながら、情報化の推進、市税などのスマホ決済や夜間窓口での住民異動届の受付開始、おくやみコーナー設置などの市民サービス拡大にも努めてきました。

将来負担比率は43.6%、貯金に当たる財政調整基金は約10億円を取り崩し、基金残高は27億4,468万円です。

**歳入決算額 640億7,494万円** (当初予算507億8,000万円、最終予算規模645億4,614万円)

**歳出決算額 622億9,768万円** (執行率 93.7%)



■ **特別会計** (国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、公共用地取得、掛川駅周辺施設管理、大坂・土方工業用地整備、各財産区 計10会計)

■ **公営企業会計** (水道、下水道など5会計)

■ **全会計規模** 歳入 **951億7,133万円** 歳出 **932億7,257万円**